

♥ 子育て世代との感覚の違い

今の時代、若い人は多様な価値観をそれぞれが持っていることで、昔とは大分違うと思います。例えば、子ども連れで夜遅い時間に居酒屋に行くなんて、私たちの年代では思いもしないことです。

また、昔より晩婚化が進んでいるようですが、結婚生活を体験することは、人生の中でも大事なことでないでしょうか。

多様な価値観については、ある程度理解できる部分もありますが、個人的には、男性が家族を養うほうがいいと思います。最近では専業主夫という人もいます。聞きますが、正直なところ、親の立場からすると違和感があります。

また、女性が働きながら育児をすることもずいぶん違ってきています。女性が社会進出をしていく時代だとは思いますが。しかし、その一方で、家庭の経済状況にもよりますが、女性は一番スキップできる3歳のときまでは育児に専念し、できれば、3歳を過ぎてから保育園に預けて、働くのがいいのでは…。しかし、女性は3年も家にいると社会的つながりから離れてしまふところもありますので、なかなか、難しい問題だと思えます。

♥ これからの男女平等参画

昔より、変わってきましたが、まだまだ男女平等参画は浸透してない部分もあるのでは。でも、今の若い人はとくに男女平等という意識をあまり意識せず、普通に生活していると思えます。私も区の広報やリーフレットを通して男女平等参画関連の啓発情報は、一応、目は通しますが普段からとくに意識しているわけではありません。無理に平等にこだわることはないと思いますが、それぞれの家庭の状況に合わせて、男女平等な生活ができれば良いのではないのでしょうか。



「時代の変化との狭間で」

子育て世代の意見



3歳になつてから保育園…だこ、待機児童の問題、仕事復帰の観点からしても、今の時代では難しいですね。育児に専念するのも楽しいけど、同じ年頃の友達や保育のつづがいている環境で育てるのもいいですよ。子どもにこつこも刺戟的だし。



私の妻は仕事をしているため、始は保育園に通っています。朝は家族で朝食をこい、二人で歌を歌いながら登園し、保育園にあおけている暇、妻は仕事に専念できます。始は先生やお友達と遊ぶことで、外の世界に触れ、生き生きと成長しています。

58歳  
団体役員  
女性

”子育てながら”ボランティア

♥ ボランティア活動を20年

子どもの文化の会として昭和50年にこの会は発足し、ボランティアとして、20年間運営に関わっています。

会では子どもたちに自主性と創造性を育んでもらおうと、生の舞台を観賞し、祭りやキャンプを行っています。会の活動も、夫はときどき、また行くのかなんて言いますが、協力的なほうだと思います。それに活動が必要だということを理解してくれていますし、友達を誘って観に来たりしてくれます。



♥ 子育てを楽しむ

家でよく男女平等の話はします。娘も関心は高く、子ども手当とか待機児童とかも話題になります。自分の育児に関しては、せめて低学年までは子どもと一緒にあげようと思えました。また、幼稚園でしたので周りのお母さん方も働いてない方が多かったです。

今は幼稚園でも仕事を持ったお母さんが増えていますが、社会で求められたり、経済的な事情があったりする場合はやむを得ないと思いますね。

子どもが小さい時期は本当に少しかけなので、その時間を大事にして子育てを楽しんでもらいたいですね。

♥ おばあちゃんは口出ししません

専業主夫については、私の娘がそういう男性を連れてきたら、どうかとは思いますが私は賛成です。夫婦間でしっかり話し合ってお互いが了解しているのであればいいと思います。おばあちゃんは口出ししませんよ(笑)。会の講師にも専業主夫の方がおられましたけど、主婦の立場もしっかりとわかる方でした。もっとも仕事したくないとか、怠けたいでは困ります。男の人の心構え次第ですね。

♥ 野球ボールのおにぎり

夫は家事をほとんどしませんでした。まだ子どもが小さくて私が入院した時、一度だけおにぎりを作ってもらったことがあります。野球のボールのような大きなおにぎりです。海苔も巻いてなかったです(笑)。

でも、今から家事をやると言われても、ちゃんと出来るかどうか見張ってなくてはならず、かえってイライラしちゃいそう(笑)。やっぱり無理だと思えますね。

